

VI-18. テキスト出力(外部出力機能)

概要

システムのデータを表計算ソフト等が扱える形式(テキスト形式)のファイルに変換して、新しいファイルを出力します。

画面説明

《テキスト出力(外部出力機能) 個人スケジュールー 画面イメージ》

勤次郎 Enterprise

ログアウト

マニュアル

前準備 個人設定 スケジュール 打刻 締め アラ-リスト 申請 予約 在席/伝言 フロー

日通 太郎 テキスト出力(外部出力機能) [トップページへ](#) [ヘルプ](#)

1 出力区分 個人スケジュール (←検索)

2 期間 << 2015/06/01 ~ 2015/06/30 >> 3 適用↓

※表示期間での在職者を表示するにはもう一度「適用↓」ボタンで社員を選択し直してください。

4 雇用 01 止社員
02 契約社員
03 派遣社員
05 パート
07 出向社員

5 職場 1000000 本社
1001000 管理部
010000002 人事課
1018000 経理課
1018020 営業部

6 職場検索
7 社員検索

8 分類 000000001 フロアA
000000002 フロアB
000000003 フロアC
000000004 フロアD
000000005 フロアE

9 職位 00001 代表取締役社長
00002 代表取締役専務
00003 営業本部長
00004 部長
00005 課長

10 在/休/退区分 在職者 休業者 休職者 退職者

11 上記選択内容から絞り込みます。

12 社員 00000000 日通 太郎
00000001 日通 次郎
00000002 日通 花子
00000005 日通 三郎
00001000 日通 寛子

13 社員コード
14 個人検索

15 条件選択 00500 個人スケジュール(簡易)

16 条件設定

17 CSV出力

《項目説明》

- (1) 出力区分 出力するデータの対象を選択します。
出力区分で選択された内容に応じて「条件選択」の内容が表示されます。出力したい条件を選択してください。
- (2) ~ (14) 「抽出画面の説明」をご覧ください。
- (15) 条件選択 外部出力条件設定画面にて設定した条件名称から、出力する条件を選択してください。
- (16) 条件設定 外部出力条件設定画面を開きます。
- (17) CSV出力 設定した出力区分、期間、表示項目のデータを選択した条件にて、CSVファイルを出力します。

《テキスト出力（外部出力機能）－マスタ（基準日あり）－ 画面イメージ》

勤次郎 Enterprise ログアウト

前準備 個人設定 スケジュール 打刻 締め アラ-リスト 申請 予約 在席/伝言 フロー

日通 太郎 テキスト出力(外部出力機能) [トップページへ](#) [ヘルプ](#)

1 出力区分 職場マスタ(Ver2) (←検索)

2 基準日 2015/06/29

3 条件選択 00152 職場マスタ 4 条件設定

5 CSV出力

《テキスト出力（外部出力機能）－マスタ（基準日なし）－ 画面イメージ》

勤次郎 Enterprise ログアウト

前準備 個人設定 スケジュール 打刻 締め アラ-リスト 申請 予約 在席/伝言 フロー

日通 太郎 テキスト出力(外部出力機能) [トップページへ](#) [ヘルプ](#)

出力区分 職位マスタ(Ver2) (←検索)

条件選択 00151 職位マスタ 条件設定

CSV出力

《項目説明》

- (1) 出力区分 出力するデータの対象を選択します。
出力区分で選択された内容に応じて「条件選択」の内容が表示されます。出力したい条件を選択してください。
- (2) 基準日 構成日を設定します。
- (3) 条件選択 外部出力条件設定画面にて設定した条件名称から、出力する条件を選択してください。
- (4) 条件設定 外部出力条件設定画面を開きます。
- (5) CSV出力 設定した出力区分、基準日、表示項目のデータを選択した条件にてCSVファイルを出力します。

《外部出力条件設定 画面イメージ》

《外部出力条件設定 画面イメージ①》

《外部出力条件設定 項目説明①》

- (1) コード変換 コード変換設定画面を開きます。
- (2) 複写 複写したい条件を左のリストから選択して複写ボタンを押し、同じ出力項目設定の条件設定を作成します。
新しい条件コードと名称を入力してください。
- (3) 項目規定値設定 項目規定値設定画面を開きます。
複数の項目に同じ詳細設定を適用したい場合、規定値となる設定を登録することができます。
- (4) Smile連携 Smile連携設定画面を開きます。

《外部出力条件設定 画面イメージ②》

①	コード (必須)	01000 (数字5桁)
②	名称 (必須)	個人情報マスタ (全角20文字)
③	テーブル選択	100 個人情報マスタ(Ver2) ④ 検索

《外部出力条件設定 項目説明②》

- (1) コード 00001～99999までの番号を任意につけてください。
登録後はコードの変更はできません。コードを変更する場合は削除してから再登録してください。
- (2) 名称 条件設定名称を表示・入力します。
- (3) テーブル選択 条件設定を行う対象のテーブルを選択します。
- (4) 検索 テーブル名を入力し検索ボタンを押すと、該当するテーブルをテーブル選択に表示します。

《外部出力条件設定 画面イメージ③》

<出力可能項目一覧>		<出力項目一覧>	
① 検索 ③ NO 項目名		② 項目詳細設定 ④ NO 項目名	
0003 会社CD[基本] 0004 会社名[基本] 0005 社員CD[基本] 0006 社員氏名[基本] 0007 社員略名[基本] 0008 社員加氏名[基本] 0010 生年月日[基本] 0011 生年月日[基本] 0015 性別[基本] 0017 入社年月日[基本] 0018 入社年月日[基本] 0027 退職年月日[基本] 0028 退職年月日[基本] 0033 個人メールアドレス[基本] 0034 携帯メールアドレス[基本] 0035 個人携帯番号[基本] 0036 会社携帯番号[基本] 0045 就業メールアドレス[基本] 0054 転居日[現住所] 0055 転居日[現住所]	⑤ ↑ ↓ ⑥ 選択→ ⑦ ←戻し ⑧ 全て→ ⑨ ←全て	0001 会社CD 0002 会社名 0003 社員CD 0004 社員氏名 0005 社員略名 0006 社員加氏名 0007 生年月日 0008 性別 0009 入社年月日 0010 退職年月日 0011 個人メールアドレス 0012 個人携帯番号 0013 会社携帯番号 0014 就業メールアドレス 0015 住所1 0016 住所2 0017 電話番号 0018 雇用契約開始 0019 雇用契約終了 0020 雇用区分CD	⑩ 出力ファイル名の設定 ⑪ 区切り文字 ⑫ 名称出力 ⑬ 文字列形式
個人情報マスタ.csv (*.txt、*.csv)			
カマ			
<input checked="" type="checkbox"/> 条件名出力設定 <input checked="" type="checkbox"/> 項目名出力設定			
タブルクォーテーション(") で囲む			

《外部出力条件設定 項目説明③》

- (1) 検索 検索したい出力項目名を入力し検索ボタンを押すと、該当する出力項目を選択状態にします。
- (2) 項目詳細設定 外部出力項目設定画面を開きます。
(初期登録後、操作可能となります。)
- (3) 出力できる項目一覧 形式選択にて選択された形式に属する項目名を一覧表示します。
- (4) 出力する項目一覧 出力できる項目一覧にて選択された項目を表示します。
- (5) 「↑」「↓」 出力する項目一覧にて選択された出力項目の順番を変更します。
項目を選択状態にした後に、移動したい方向のボタンを押してください。
- (6) 選択→ 出力できる項目一覧にて選択されている項目を出力する項目一覧に追加します。
- (7) ←戻し 出力する項目一覧にて選択されている項目を出力できる項目一覧に戻します。
- (8) 全て→ 出力できる項目一覧にて表示されている全項目を出力する項目一覧に追加します。
- (9) ←全て 出力する項目一覧にて表示されている全項目を出力できる項目一覧に戻します。
- (10) 出力ファイル名の設定 出力するファイル名を入力します。
- (11) 区切り文字 テキスト出力をする際の区切文字を選択します。
「なし」「カンマ」「セミコロン」「タブ」「スペース」より選択します。
- (12) 名称出力 条件名出力設定にチェックを入れると、テキストファイルの先頭に条件名称を出力します。
項目名出力設定にチェックを入れると、外部出力項目設定画面にて登録した項目名を出力します。
- (13) 文字列形式 外部出力項目設定画面にて囲み文字をつけるにチェックが入っている項目に対して選択された囲み文字を付加します。「なし」「シングルコーテーション()」「ダブルコーテーション()」より選択します。
また、条件名出力、項目名出力にチェックが入っている場合も条件名、項目名に選択された囲み文字を付加して出力します。

《項目規定値設定 画面イメージ》

《項目規定値設定：数値型 画面イメージ》

《項目規定値設定：数値型 項目説明》

- (1) 小数有り 小数以下を出力したい場合に選択します。
- (2) 小数なし 小数以下の値を出力しない場合に選択します。
- (3) 小数 小数以下の値を何桁まで出力するか、1～5の値で入力します。

- (4) 小数点出力設定 「小数点を出力しない」「小数点を出力する」より選択します。
- ①「小数点を出力しない」とした場合は、小数点を省いた形で出力します。
例) 小数1桁まで出力とした場合
出力項目の値 = 1.5 ⇒ 出力される値 = 15
- ②「小数点を出力する」とした場合は、小数点を付加した形で出力します。
例) 小数2桁まで出力とした場合
出力項目の値 = 1.5 ⇒ 出力される値 = 1.50
- (5) 小数以下端数設定 出力項目に小数以下の値があった場合の端数処理を選択します。「切り捨て」「四捨五入」「切り上げ」より選択します。
- ①小数：1桁、「切り捨て」とした場合は、出力項目の小数点以下1桁を切り捨てて出力します。
例1) 出力項目の値 = 0.5 ⇒ 出力される値 = 0
例2) 出力項目の値 = 1.25 ⇒ 出力される値 = 1
- ②小数：なし、「切り捨て」とした場合は、出力項目の小数点以下を切り捨てて出力します。
例1) 出力項目の値 = 0.5 ⇒ 出力される値 = 0
例2) 出力項目の値 = 1.25 ⇒ 出力される値 = 1
- ③小数：1桁、「四捨五入」とした場合は、出力項目の小数点以下1桁を四捨五入して出力します。
例1) 出力項目の値 = 0.5 ⇒ 出力される値 = 1
例2) 出力項目の値 = 1.25 ⇒ 出力される値 = 1
- ④小数：なし、「切り捨て」とした場合は、出力項目の小数点以下を切り捨てて出力します。
例1) 出力項目の値 = 0.5 ⇒ 出力される値 = 0
例2) 出力項目の値 = 1.25 ⇒ 出力される値 = 1
- ⑤小数：1桁、「切り上げ」とした場合は、出力項目の小数点以下1桁を切り上げて出力します。
例1) 出力項目の値 = 0.5 ⇒ 出力される値 = 1
例2) 出力項目の値 = 1.25 ⇒ 出力される値 = 2
- ⑥小数：1桁、「切り上げ」とした場合は、出力項目の小数点以下1桁を切り上げて出力します。
例1) 出力項目の値 = 0.5 ⇒ 出力される値 = 1
例2) 出力項目の値 = 1.25 ⇒ 出力される値 = 2
- (6) マイナス値 出力項目の値がマイナスであった場合に、マイナスの値を0で出力します。
例) 出力項目の値 = -1 ⇒ 出力される値 = 0
- (7) 固定値演算 出力する値に対し、固定値を加算、減算したい場合に選択します。
- (8) 固定値演算 (演算子) 十、一より選択します。

(9) 固定値演算 (固定値)

出力項目に加算、減算したい値を入力します。

例1) 演算子：＋、固定値：1.25と設定した場合
出力項目の値 = 1 ⇒ 出力される値 = 2.25

例2) 演算子：－、固定値：1.25と設定した場合
出力項目の値 = 1 ⇒ 出力される値 = -0.25

(10) 固定長出力 固定長にて出力を行う場合に選択します。

(11) 整数桁 整数部の桁数を入力します。

(12) 桁数不足時の編集方法

出力項目の値 (整数部) が指定された整数桁に満たなかった場合の編集方法を「前ゼロ」「前スペース」より選択します。

例1) 整数を5桁、前ゼロ編集、小数を2桁と設定した場合
出力項目の値 = 1.5 ⇒ 出力される値 = 00001.50

例2) 整数を5桁、前ゼロ編集、小数を2桁と設定した場合
出力項目の値 = -1.5 ⇒ 出力される値 = -0001.50

例3) 整数を5桁、前スペース編集、小数を2桁と設定した場合
出力項目の値 = 1.5 ⇒ 出力される値 = ▲▲▲▲1.50
※▲ = 半角スペース

例4) 整数を5桁、前スペース編集、小数を2桁と設定した場合
出力項目の値 = -1.5 ⇒ 出力される値 = ▲▲▲-1.50
※▲ = 半角スペース

(13) 条件設定 選択された項目の値 (加算、減算した結果の値) と条件設定した値とを比較して出力します。

* 条件記号の種類

「>」「≥」「≤」「<」「<>」「><」「≤≥」「≥≤」
「=」「≠」より選択します。

例1) 出力する項目の値⇒1, 2, 3, 4, 5
条件設定⇒①条件記号「>」②比較値1「2」
上記の通り条件設定を行った場合は出力項目の値の「3, 4, 5」を出力します。

例2) 出力する項目の値⇒1, 2, 3, 4, 5
条件設定⇒①条件記号「<>」②比較値1「2」/比較値2「5」
上記の通り条件設定を行った場合は出力項目の値の「3, 4」を出力します。

(14) 囲み文字設定 出力項目の値に外部出力条件画面上の文字型形式にて選択された囲み文字を付加して出力します。

(15) NULL値置き換え設定

出力項目の値がNULLであった場合にある値に置き換えて出力したい場合に選択します。

《項目規定値設定：文字型 画面イメージ》

《文字型》<出力時のデータ形式/編集>	
① <input checked="" type="checkbox"/> 有効桁長	② 1 桁目から ③ 8 桁
④ <input checked="" type="checkbox"/> コード編集	⑤ 10 桁で ⑥ 前ゼロ
⑦ <input type="checkbox"/> スペース編集	後スペースを削除
⑧ <input checked="" type="checkbox"/> コード変換	選択 00002 男女コード変換
<条件設定>	
⑨ <input checked="" type="checkbox"/> 条件設定	> 10 ※日付は西暦4桁・年月各2桁で、時間(時刻)は分で入力
<囲み文字設定>	
⑩ 囲み文字	<input checked="" type="checkbox"/> 囲み文字をつける
<NULL値置き換え設定>	
⑪ <input checked="" type="checkbox"/> NULL値置き換え	なし

《項目規定値設定：文字型 項目説明》

- (1) 有効桁長 出力項目の1部分を出力したい場合に選択します。
- (2) n桁目（有効開始桁位置） 出力項目の1部分を出力する際の先頭桁を入力します。
- (3) n桁（有効桁数） 出力項目の1部分を出力する際の先頭桁から何桁分を出力するかを入力します。
例) 1桁目から4桁と設定した場合
出力項目の値 = 12345678 ⇒ 出力される値 = 1234
- (4) コード編集 出力項目の桁数を編集して出力したい場合に選択します。
上記(1)～(3)の有効桁長と組合せて出力することもできます。
- (5) n桁（出力桁数） 出力項目の桁数を拡張して出力したい場合に入力します。
- (6) 編集方法 出力項目の桁数が指定された値（上記(5)の桁数）に満たない場合の編集方法を選択します。「前ゼロ」「後ゼロ」「前スペース」「後スペース」より選択します。
例1) 有効桁長：設定なし、出力桁数：10桁、前ゼロ
出力項目の値 = 12345678 ⇒ 出力される値 = 0012345678
例2) 有効桁長：設定なし、出力桁数：10桁、後ゼロ
出力項目の値 = 12345678 ⇒ 出力される値 = 1234567800
例3) 有効桁長：設定なし、出力桁数：10桁、前スペース
出力項目の値 = 12345678 ⇒ 出力される値 = ▲▲12345678
※▲ = 半角スペース
例4) 有効桁長：設定なし、出力桁数：10桁、後スペース
出力項目の値 = 12345678 ⇒ 出力される値 = 12345678▲▲
※▲ = 半角スペース

- 例5) 有効桁長：2桁目から5桁、出力桁数：10桁、前ゼロ
出力項目の値 = 12345678 ⇒ 出力される値 = 0000023456
- 例6) 有効桁長：2桁目から5桁、出力桁数：10桁、後ゼロ
出力項目の値 = 12345678 ⇒ 出力される値 = 2345600000
- 例7) 有効桁長：2桁目から5桁、出力桁数：10桁、前スペース
出力項目の値 = 12345678 ⇒ 出力される値 = ▲▲▲▲▲23456
※▲ = 半角スペース
- 例8) 有効桁長：2桁目から5桁、出力桁数：10桁、後スペース
出力項目の値 = 12345678 ⇒ 出力される値 = 23456▲▲▲▲▲▲
※▲ = 半角スペース

- (7) スペース編集 「編集しない」「前スペースを削除」「後スペースを削除」「前後スペースを削除」より選択します。
- (8) コード変換 勤次郎のコードを他システムのコードに変換します。
※コード変換設定画面でコード変換の設定を行います。
- (9) ~ (11) 《項目規定値設定：数値型 項目説明》(13) ~ (15)をご覧ください。

《項目規定値設定：日付型 画面イメージ》

《日付型》<出力時のデータ形式/編集>		
① 形式選択	<input type="radio"/> YYYY/MM/DD	① 0 → XXXX
	<input type="radio"/> YYYYMMDD (※月、日 2桁必須)	② 1888 → 明治
	<input type="radio"/> YY/MM/DD	③ 1912 → 大正
	<input type="radio"/> YYMMDD (※月、日 2桁必須)	④ 1926 → 昭和
	<input checked="" type="radio"/> JJYY/MM/DD (※和暦)	⑤ 1989 → 平成
	<input type="radio"/> JJYYMMDD (※和暦)	⑥ 0 →
	② 和暦記号	
<条件設定>		
③ <input checked="" type="checkbox"/> 条件設定	> 1850.00 0.00 ※日付は西暦4桁・年月各2桁で、時間(時刻)は分で入力	
<囲み文字設定>		
④ 囲み文字	<input type="checkbox"/> 囲み文字をつける	
<NULL値置き換え設定>		
⑤ <input type="checkbox"/> NULL値置き換え		

《項目規定値設定：日付型 項目説明》

- (1) 形式選択 日付型の出力項目の出力したい形式を選択します。「YYYY/MM/DD」「YYYY」MMDD」「YY/MM/DD」「YYMMDD」「JJYY/MM/DD」「JJYYMMDD」より選択します。
例1) 「YYYY/MM/DD」とした場合
出力項目の値 = 20040401 ⇒ 出力される値 = 2004/04/01

例2) 「YYYYMMDD」とした場合
出力項目の値 = 20040401 ⇒ 出力される値 = 20040401

例3) 「YY/MM/DD」とした場合
出力項目の値 = 20040401 ⇒ 出力される値 = 04/04/01

例4) 「YYMMDD」とした場合
出力項目の値 = 20040401 ⇒ 出力される値 = 040401

例5) 「JJYY/MM/DD」とし、和暦記号を下記の通り設定した場合
1868→明治、1912→大正、1926→昭和、1989→平成
出力項目の値 = 20040401 ⇒ 出力される値 = 平成15/04/01

例6) 「JJYYMMDD」とし、和暦記号を下記の通り設定した場合
1868→明治、1912→大正、1926→昭和、1989→平成
出力項目の値 = 20040401 ⇒ 出力される値 = 平成150401

(2) 和暦記号 西暦の年数を和暦記号に置換えて出力した場合に選択します。
※和暦記号の置換えは形式選択の「JJYY/MM/DD」「JJYYMMDD」で使用することができます。

(3) ~ (5) 《項目規定値設定：数値型 項目説明》(13) ~ (15)をご覧ください。

《項目規定値設定：時間型 画面イメージ》

(時間型) <出力時のデータ形式/編集>	
① 時分/分選択	<input checked="" type="radio"/> 時分 <input type="radio"/> 分
分/小数処理	② 2 桁 未満 <input type="radio"/> 切り捨て <input type="radio"/> 切り捨て
④ 進数選択	<input type="radio"/> 60進数 <input checked="" type="radio"/> 10進数
⑤ マイナス値	<input checked="" type="checkbox"/> マイナス値を0で出力
⑥ 区切り文字設定	区切り文字なし
⑦ <input checked="" type="checkbox"/> 固定値演算	⑧ + ⑨ 30.00 分
⑩ <input checked="" type="checkbox"/> 固定長出力	⑪ 整数 5 桁 ⑫ 桁不足時の編集方法 前ゼロ
<条件設定>	
⑬ <input checked="" type="checkbox"/> 条件設定	> 0.00 0.00 ※日付は西暦4桁・年月各2桁で、時間(時刻)は分で入力
<囲み文字設定>	
⑭ 囲み文字	<input type="checkbox"/> 囲み文字をつける
<NULL値置き換え設定>	
⑮ <input type="checkbox"/> NULL値置き換え	

《項目規定値設定：時間型 項目説明》

- (1) 時分／分選択 出力項目を「時間」、「分」で分けて出力するか、「分」で出力するかを選択します。
- (2) 分（小数）桁 10進数にて出力する際の小数以下の桁数を0～3の値で入力します。
※60進数選択時は2桁の出力となります。
- (3) 端数処理 10進数を選択した際に出力項目に小数以下3桁以上の値が出た場合の端数処理を「切り捨て」「四捨五入」「切り上げ」より選択します。
例1) 分（小数）桁：2桁、「切り捨て」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.68

例2) 分（小数）桁：2桁、「四捨五入」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.68

例3) 分（小数）桁：2桁、「切り上げ」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.69
- (4) 進数選択 出力時の進数を選択します。
例1) 「60進数」を選択した場合（形式選択にて.を選択）
出力項目の値 = 1時間30分 ⇒ 出力される値 = 1:30

例2) 「10進数」を選択した場合（形式選択にて.を選択）
出力項目の値 = 1時間30分 ⇒ 出力される値 = 1.5
- (5) マイナスの値 出力項目の値がマイナスであった場合に、マイナスの値を0で出力します。
例) 出力項目の値 = -1時間 ⇒ 出力される値 = 0
- (6) 区切り文字設定 出力時の形式選択を選択します。「区切り文字なし」「小数点で区切る」「コロンで区切る」より選択します。
※60進数、10進数に関わらず、選択された区切文字にて出力することができます。
例1) 60進数、「区切り文字なし」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 141

例2) 60進数、「小数点で区切る」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.41

例3) 60進数、「コロンで区切る」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1:41

例4) 10進数、「区切り文字なし」、小数2桁未満切り捨てを選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 168

例5) 10進数、「小数点で区切る」、小数2桁未満切り捨てを選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.68

例6) 10進数、「コロンで区切る」、小数2桁未満切り捨てを選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1:68

- (7) 固定値演算 出力する値に対し、固定値を加算、減算したい場合に選択します。
- (8) 固定値演算（演算子）
 +、-より選択します。
- (9) 固定値演算（固定値）
 出力項目に加算、減算したい値を入力します。
 ※分数での入力となります。
 例1) 演算子：+、固定値：60と設定した場合（60進数を選択）
 出力項目の値 = 1時間15分 ⇒ 出力される値 = 2:15

 例2) 演算子：-、固定値：60と設定した場合
 出力項目の値 = 1時間15分 ⇒ 出力される値 = 0:15
- (10) 固定長出力 固定長にて出力を行う場合に選択します。
- (11) 時間（整数）桁 時間（整数部）の桁数を入力します。
- (12) 桁数不足時の編集方法
 出力項目の値（時間（整数部））が指定された時間（整数桁）に満たなかった場合の編集方法を「前ゼロ」「前スペース」より選択します。
 例1) 時間：5桁、前ゼロ編集、分：2桁と設定した場合（10進数を選択）
 出力項目の値 = 1時間30分 ⇒ 出力される値 = 00001.50

 例2) 時間：5桁、前ゼロ編集、分：2桁と設定した場合（10進数を選択）
 出力項目の値 = -1時間30分 ⇒ 出力される値 = -0001.50

 例3) 時間：5桁、前スペース編集、分：2桁と設定した場合（10進数を選択）
 出力項目の値 = 1時間30分 ⇒ 出力される値 = ▲▲▲▲1.50
 ※▲ = 半角スペース

 例4) 時間：5桁、前スペース編集、分：2桁と設定した場合
 出力項目の値 = -1時間30分 ⇒ 出力される値 = ▲▲▲-1.50
 ※▲ = 半角スペース
- (13) ~ (15) 《項目規定値設定：数値型 項目説明》(13) ~ (15)をご覧ください。

《項目規定値設定：時刻型 画面イメージ》

(時刻型) <出力時のデータ形式/編集>	
① 時分/分選択	<input checked="" type="radio"/> 時分 <input type="radio"/> 分
分/小数処理	② 2 桁 未満 切り捨て
④ 進数選択	<input type="radio"/> 60進数 <input checked="" type="radio"/> 10進数
⑤ 翌日の時刻出力方法	そのまま出力
⑥ 前日の時刻出力方法	そのまま出力
⑦ 区切り文字設定	区切り文字なし
⑧ <input checked="" type="checkbox"/> 固定長出力	⑨ 時間(整数) 5 桁 ⑩ 桁不足時の編集方法 前ゼロ
<条件設定>	
⑪ <input checked="" type="checkbox"/> 条件設定	> 0.00 0.00 ※日付は西暦4桁・年月各2桁で、時間(時刻)は分で入力
<囲み文字設定>	
⑫ 囲み文字	<input type="checkbox"/> 囲み文字をつける
<NULL値置き換え設定>	
⑬ <input type="checkbox"/> NULL値置き換え	

《項目規定値設定：時刻型 項目説明》

- (1) 時分/分選択 出力項目を時間、分で分けて出力するか分で出力するかを選択します。
- (2) 分(小数)桁 10進数にて出力する際の小数以下の桁数を0~3の値で入力します。
※60進数選択時は2桁の出力となります。
- (3) 端数処理 10進数を選択した際に出力項目に小数以下3桁以上の値が出た場合の端数処理を「切り捨て」「四捨五入」「切り上げ」より選択します。
例1) 分(小数)桁: 2桁、「切り捨て」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.68

例2) 分(小数)桁: 2桁、「四捨五入」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.68

例3) 分(小数)桁: 2桁、「切り上げ」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.69
- (4) 進数選択 出力時の進数を選択します。
例1) 「60進数」を選択した場合(形式選択にて: を選択)
出力項目の値 = 1時間30分 ⇒ 出力される値 = 1:30

例2) 「10進数」を選択した場合(形式選択にて. を選択)
出力項目の値 = 1時間30分 ⇒ 出力される値 = 1.5
- (5) 翌日の時刻出力方法 出力項目の値が翌日の時刻であった場合の出力方法を選択します。
「そのまま出力」「24時間加算で出力」より選択します。

例1) 「そのまま出力」を選択した場合 (60進数を選択)
出力項目の値 = 翌日0時30分 ⇒ 出力される値 = 0:30

例2) 「24時間加算で出力」を選択した場合 (60進数を選択)
出力項目の値 = 翌日0時30分 ⇒ 出力される値 = 24:30

(6) 前日の時刻出力方法

出力項目の値が前日の時刻であった場合の出力方法を選択します。
「そのまま出力」「0:00で出力」「マイナスで出力」より選択します。

例1) 「そのまま出力」を選択した場合 (60進数を選択)
出力項目の値 = 前日0時30分 ⇒ 出力される値 = 0:30

例2) 「0:00で出力」を選択した場合 (60進数を選択)
出力項目の値 = 前日0時30分 ⇒ 出力される値 = 0:00

例3) 「マイナスで出力」を選択した場合 (60進数を選択)
出力項目の値 = 前日0時30分 ⇒ 出力される値 = -0:30

(7) 区切り文字設定

出力時の形式選択を選択します。「区切り文字なし」「小数点で区切る」「コロンで区切る」より選択します。
※60進数、10進数に関わらず、選択された区切文字にて出力することができます。

例1) 60進数、「区切り文字なし」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 141

例2) 60進数、「小数点で区切る」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.41

例3) 60進数、「コロンで区切る」を選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1:41

例4) 10進数、「区切り文字なし」、小数2桁未満切り捨てを選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 168

例5) 10進数、「小数点で区切る」、小数2桁未満切り捨てを選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1.68

例6) 10進数、「コロンで区切る」、小数2桁未満切り捨てを選択した場合
出力項目の値 = 1時間41分 ⇒ 出力される値 = 1:68

(8) 固定長出力

固定長にて出力を行う場合に選択します。

(9) 時間 (整数) 桁

時間 (整数部) の桁数を入力します。

(10) 桁数不足時の編集方法

出力項目の値 (時間 (整数部)) が指定された時間 (整数桁) に満たなかった場合の編集方法を「前ゼロ」「前スペース」より選択します。

例1) 時間：5桁、前ゼロ編集、分：2桁と設定した場合（10進数を選択）

出力項目の値 = 1時30分 ⇒ 出力される値 = 00001.50

例2) 時間：5桁、前ゼロ編集、分：2桁と設定した場合（10進数を選択）

出力項目の値 = 前日1時30分（前日の時刻をマイナスで出力）
⇒ 出力される値 = -0001.50

例3) 時間：5桁、前スペース編集、分：2桁と設定した場合（10進数を選択）

出力項目の値 = 1時30分 ⇒ 出力される値 = ▲▲▲▲1.50
※▲ = 半角スペース

例4) 時間：5桁、前スペース編集、分：2桁と設定した場合

出力項目の値 = 前日1時30分（前日の時刻をマイナスで出力）
⇒ 出力される値 = ▲▲▲-1.50

※▲ = 半角スペース

(11) ~ (13) 《項目規定値設定：数値型 項目説明》(13) ~ (15)をご覧ください。

《項目規定値設定：在職区分 画面イメージ》

(在職区分) <出力時のデータ形式/編集>		
① 出力値設定 (※出力期間の開始日時点の状態で出力します。)	在職時	<input type="text" value="01"/>
	休職時	<input type="text" value="02"/>
	退職時	<input type="text" value="03"/>
	休業時	<input type="text" value="01"/>
<囲み文字設定>		
囲み文字	<input type="checkbox"/> 囲み文字をつける	

《項目規定値設定：在職区分 項目説明》

(1) 出力時設定

在職、休職、退職、休業時に出力する値を入力します。
それぞれの区分の判断は出力期間の開始日時点の状態で値を出力します。

例) 在職時：01、休職時：02、退職時：03、休業時：01と設定し、
出力期間を2005/1/1~2005/1/31として出力した場合

①休職、退職、休業の情報が個人情報で設定されていない社員及び入社日が2005/1/1以前の社員を在職「01」で出力します。

②個人情報にて休職開始日が2005/1/1以前、かつ休職終了日が2005/1/1以降の社員を休職「02」で出力します。

③個人情報にて退職年月日が2005/1/1より前の社員を退職「03」で出力します。（退職日が2005/1/1の場合は在職「01」として出力します。）

④個人情報にて休業開始日が2005/1/1以前、かつ休業終了日が2005/1/1以降の社員を休業「01」として出力します。

《外部出力項目設定 画面イメージ》

外部出力項目設定 01000 : 個人情報マスタ

新規 登録 削除 閉じる

出力項目コード (必須) 0002 (数字4桁)

出力項目名 (必須) 会社名 (全角15文字)

形式選択 文字型

<出力可能項目一覧>

NO	項目名
0004	会社名[基本]
0005	社員CD[基本]
0006	社員氏名[基本]
0007	社員略名[基本]
0008	社員姓氏名[基本]
0011	生年月日[基本]
0015	性別[基本]
0018	入社年月日[基本]
0028	退職年月日[基本]
0033	個人メールアドレス[基本]
0034	携帯メールアドレス[基本]
0035	個人携帯番号[基本]
0036	会社携帯番号[基本]

<選択項目一覧>

NO	項目名
0004	会社名[基本]

計算 会社名[基本]

<出力時のデータ形式/編集> 既定値表示

有効桁長 1 桁目から 2 桁

コード編集 2 桁で 前ゼロ

スペース編集 編集しない

コード変換 選択

<条件設定>

条件設定 > ※日付は西暦4桁・年月各2桁で、時間(時刻)は分まで入力

<囲み文字設定>

囲み文字 囲み文字をつける

<NULL値置き換え設定>

NULL値置き換え

《外部出力項目設定 画面イメージ①》

1 出力項目コード (必須) 0001 (数字4桁)

2 出力項目名 (必須) 会社名 (全角15文字)

3 形式選択 文字型

5 NO 項目名 4 検索

6 NO 項目名

7 +

8 -

9 &

10 ←戻し

11 ←全て

12 計算 会社名[基本]

《項目詳細設定画面 項目説明①》

- (1) 出力項目コード 出力項目コードを0001～9999までの数値で入力します。登録後はコードの変更はできません。変更する場合は削除してから再登録してください。
- (2) 出力項目名 出力項目名を入力します。
- (3) 形式選択 「数値型」「文字型」「日付型」「時間型」「時刻型」「固定値（数値）」「固定値（文字）」「在職区分」より出力したい項目の形式を選択します。
- (4) 検索 検索したい出力項目名を入力し検索ボタンを押すと、該当する出力項目を選択した状態にします。
- (5) 出力可能項目一覧 形式選択にて選択された形式に属する項目名を一覧表示します。
- (6) 選択項目一覧 出力可能項目一覧にて選択された項目を表示します。
- (7) + 項目の値と項目の値を加算して出力したい場合に選択します。
※加算処理は数値型、時間型で使用することができます。
- (8) - 項目の値と項目の値を減算して出力したい場合に選択します。
※減算処理は数値型、時間型で使用することができます。
- (9) & 項目の値と項目の値を結合して出力したい場合に選択します。
※結合処理は文字型で使用することができます。
- (10) ←戻し 選択項目一覧にて選択されている項目を戻します。
- (11) ←全て 選択項目一覧にて表示されている全項目を戻します。
- (12) 計算 選択された項目の計算式を表示します。

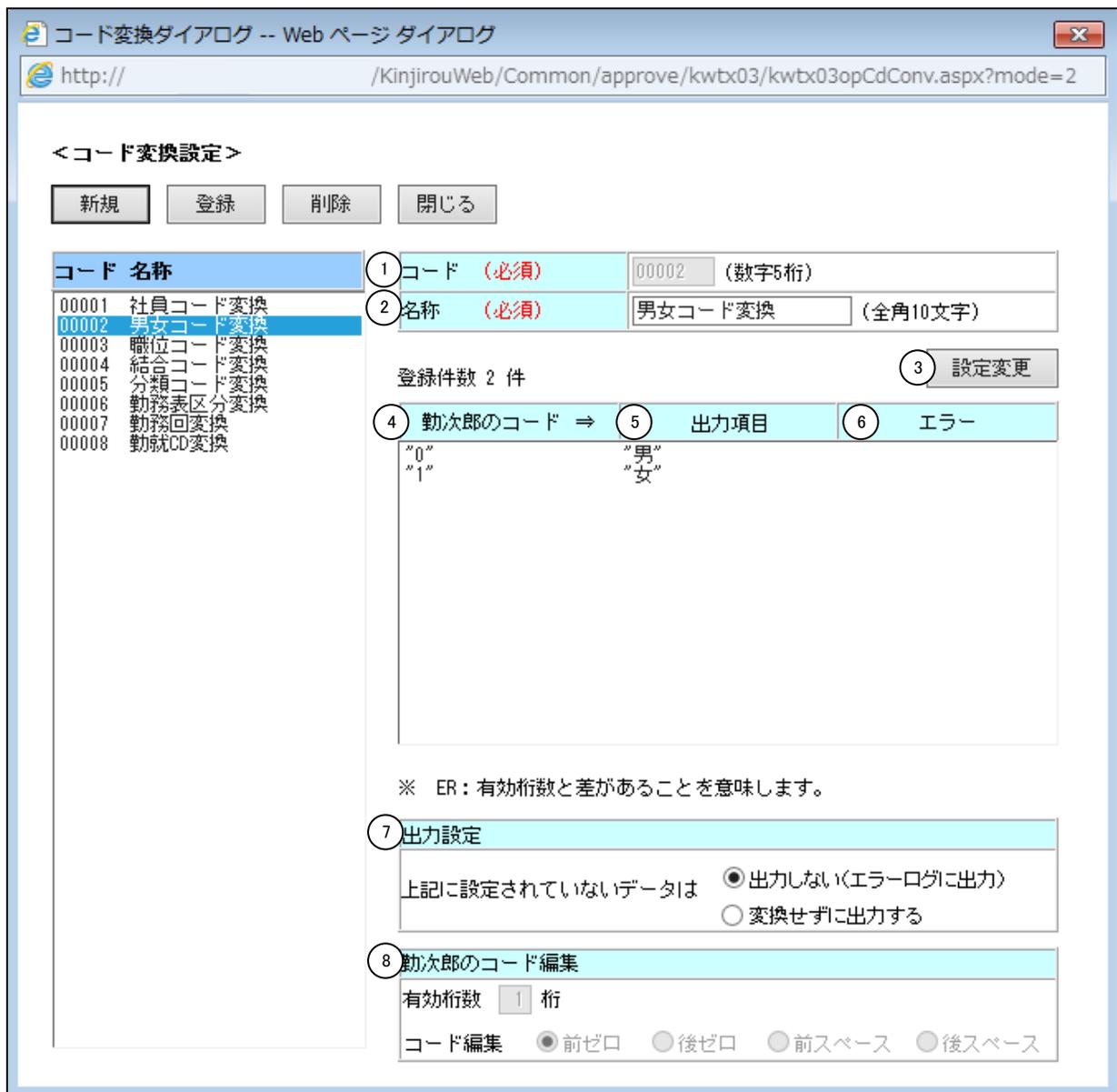
《外部出力項目設定 画面イメージ②》

<出力時のデータ形式/編集> ① 既定値表示	
② <input checked="" type="checkbox"/> 有効桁長	1 桁目から 8 桁
<input checked="" type="checkbox"/> コード編集	10 桁で 前ゼロ
スペース編集	編集しない
<input checked="" type="checkbox"/> コード変換	選択 00002 男女コード変換
<条件設定>	
③ <input checked="" type="checkbox"/> 条件設定	> 0 ※日付は西暦4桁・年月各2桁で、時間(時刻)は分で入力
<囲み文字設定>	
④ 囲み文字	<input checked="" type="checkbox"/> 囲み文字をつける
<NULL値置き換え設定>	
⑤ <input checked="" type="checkbox"/> NULL値置き換え	なし

《項目詳細設定画面 項目説明②》

- (1) 規定値表示 項目規定値設定画面で登録した規定値を(2)～(5)へ反映します。
- (2) 出力時のデータ形式/編集
出力時の形式/編集方法を選択します。
形式選択で選択した項目によって設定内容が異なります。
項目規定値設定画面の項目説明をご覧ください。
- (3)～(5) 《項目規定値設定：数値型 項目説明》(13)～(15)をご覧ください。

《コード変換設定 画面イメージ》



《コード変換設定 項目説明》

- (1) コード コード変換設定コードを00001～99999までの数値で入力します。
登録後はコードの変更はできません。変更する場合は削除してから再登録してください。
- (2) 名称 コード変換設定名称を入力します。
- (3) 設定変更 設定変更画面を表示します。
- (4) 勤次郎のコード 勤次郎のコードを表示します。
- (5) 出力項目 外部システムへ出力するコードを表示します。
- (6) エラー 有効桁数と差がある場合、「ER」と表示します。
- (7) 受入設定 コード変換設定のされていないデータについて設定します。
出力しない場合は、エラーログを出力します。
変換せずに出力する場合は、勤次郎のコードのまま出力します。
- (8) 勤次郎のコード編集 有効桁数を指定し、コードの形式を「前ゼロ」「後ゼロ」「前スペース」「後スペース」から選択します。

《コード変換設定変更 画面イメージ》

勤次郎のコード =>	出力項目	エラー
1	男	勤次郎のコード (必須)
	女	出力項目 (必須)

※ ER: 有効桁数と差があることを意味します。

《コード変換設定変更 項目説明》

- (1) 勤次郎のコード 勤次郎のコードを入力します。
- (2) 出力項目 外部システムへ出力するコードを入力します。

《複写 画面イメージ》

勤次郎 -- Web ページ ダイアログ

http:// /KinjirouWeb/Kinjirou/hojo/kwtx01/kwtx01opCopy.i

<外部出力条件設定の複写>

1 複写元	01000 個人情報マスタ	
2 コード (必須)	01001	(数字5桁)
3 名称 (必須)	個人情報-年休	(全角20文字)

決定 取消

《複写 項目説明》

- (1) 複写元 複写ボタンを押した時に選択していた条件を表示します。
- (2) 条件コード 複写の際に新しく作成する条件設定のコードを入力します。
- (3) 条件設定名称 複写の際に新しく作成する条件の名称を入力します。

《Smile連携詳細設定 画面イメージ》

勤次郎 -- Web ページ ダイアログ

http:// /KinjirouWeb/Kinjirou/hojo/kwtx01/kwtx01SmileOp.aspx?dum=2015%2f06%2f29+21%3a00%3a08

Smile連携詳細設定

登録 閉じる

外部出力設定

条件設定コード	1 <input checked="" type="checkbox"/> 変動項目	00103 月別実績
『実績修正のロック』機能のチェック設定	2 <input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
『月別実績の確認』機能のチェック設定	3 <input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない

4 選択可能な雇用一覧 (CD 名称) 支払口 01

5	7	6	11
02 契約社員	選択->	01 正社員	連動月の設定 <input checked="" type="radio"/> 当月の情報を連携する <input type="radio"/> 1ヶ月前の情報を連携する
03 派遣社員	←戻し	05 パート	
04 雇託	全て->	06 アルバイト	
	←全て		

< *雇用 毎に連動月の設定を行って下さい >

《Smile連携詳細設定 項目説明》

- (1) 条件設定コード 変動項目を設定する場合はチェックをつけてください。
連携を行う条件設定コードを設定します。
- (2) 『実績修正のロック』機能のチェック設定
実績修正のロックをするか否かを選択します。
- (3) 『月別実績の確認』機能のチェック設定
月別実績の確認をするか否かを選択します。
- (4) 支払日 雇用ごとに支払日を選択します。
- (5) 選択可能な雇用一覧
雇用を一覧表示します。
- (6) 選択された雇用一覧
選択可能な雇用一覧にて選択された雇用を一覧表示します。
- (7) 選択→ 選択可能な雇用一覧にて選択されている項目を選択された雇用一覧に追加します。
- (8) ←戻し 選択された雇用一覧にて選択されている項目を選択可能な雇用一覧に戻します。
- (9) 全て→ 選択可能な雇用一覧にて表示されている全項目を選択された雇用一覧に追加します。
- (10) ←全て 選択された雇用一覧にて表示されている全項目を選択可能な雇用一覧に戻します。
- (11) 連動月の設定 雇用に対してそれぞれ設定します。雇用毎に連動月を変更できます。
例) 勤怠の締め 給与の支払日 連動月の設定
① 10月末 11月15日 ⇒ 「1ヶ月前の情報を連携する」
② 10月15日 10月25日 ⇒ 「当月の情報を連携する」

《CSV出力後 画面イメージ》

勤次郎 Enterprise ログアウト マニュアル

前準備 個人設定 スケジュール 打刻 締め アーリスト 申請 予約 在席/伝言 フロー

日通 太郎 テキスト出力(外部出力機能) トップページへ ヘルプ

出力区分	個人スケジュール (←検索)	
期間	<< 2015/06/01	2015/06/30 >> 適用↓
※表示期間での在職者を表示するにはもう一度「適用↓」ボタンで社員を選択し直してください。		
雇用	<input type="checkbox"/> 01 正社員 <input type="checkbox"/> 02 契約社員 <input type="checkbox"/> 03 派遣社員 <input type="checkbox"/> 05 パート <input type="checkbox"/> 07 出向社員	
職場	<input type="checkbox"/> 1000000 本社 <input type="checkbox"/> 1001000 管理部 <input type="checkbox"/> 010000002 人事課 <input type="checkbox"/> 1018000 経理課 <input type="checkbox"/> 1018020 営業部	
分類	<input type="checkbox"/> 000000001 フロアA <input type="checkbox"/> 000000002 フロアB <input type="checkbox"/> 000000003 フロアC <input type="checkbox"/> 000000004 フロアD <input type="checkbox"/> 000000005 フロアE	職位 <input type="checkbox"/> 00001 代表取締役社長 <input type="checkbox"/> 00002 代表取締役専務 <input type="checkbox"/> 00003 営業本部長 <input type="checkbox"/> 00004 副社長 <input type="checkbox"/> 00005 課長
在/休/退区分	<input checked="" type="checkbox"/> 在職者 <input checked="" type="checkbox"/> 休業者 <input checked="" type="checkbox"/> 休職者 <input checked="" type="checkbox"/> 退職者 上記選択内容から絞り込みます。	
社員	<input type="checkbox"/> 00000000 日通 太郎 <input type="checkbox"/> 00000001 日通 次郎 <input type="checkbox"/> 00000002 日通 花子 <input type="checkbox"/> 00000005 日通 三郎 <input type="checkbox"/> 00001000 日通 寛子	社員コード <input type="text"/> 検索 個人検索
条件選択	00500 個人スケジュール(簡易) 条件設定	
CSV出力		



《CSV出力後 項目説明》

- (1) 実行状態 実行状態を表示します。
- (2) ダウンロード ファイルをダウンロードします。
- (3) 閉じる 画面を閉じます。

